

リトアニアとポーランドを訪ねて

I リトアニア編

戦争の跡をみて、今を考える

2025年7月
栗又 衛

I リトアニア



1 バルト三国の一つ



【リトアニアの拡大図】



○① 人口は、289万人。茨城県とほぼ同じ。

○② 6万5300km²キロ。北海道の約78%。

○③ 民族・文化 リトアニア人82%。

○ バルト系。リトアニア語。

○④ 宗教 ローマカトリック。ロシア正教も。

○⑤ リトアニア共和国。1991年にソ連から独立。

○ 2004年にE UとN A T Oに加盟。

2 首都ビリニユス







































SUSHI CITY









**ДЛЯ ГРОМАДЯН УКРАЇНИ
ВСІ СЕАНСИ
У КІНОТЕАТРІ
БЕЗКОШТОВНІ**















MUSEUM
OF CULTURE
AND IDENTITY
OF LITHUANIAN JEWS

























3 古都カウナス





































4 戦争——ナチスとソ連の支配

第九要塞（ビリニュス） ナチスドイツの監獄











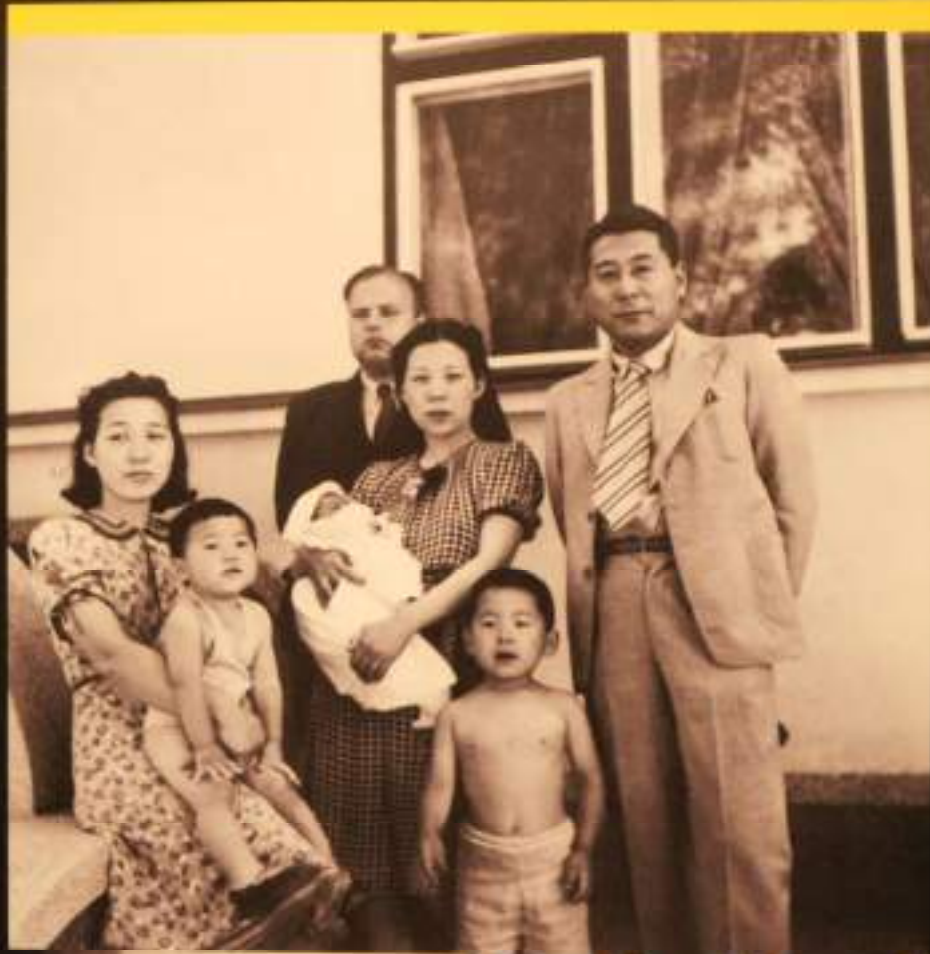


omatas Čijunė Sugihara (Chiune Sugihara)
prie savo darbo stalo.
Helsinkis, Suomija, 1937 m.
sutikus Hiroki Sugiharai (Hiroki Sugihara)

omat Chiune Sugihara at his working table.
Helsinki, Finland, 1937.
USHMM, courtesy of Hiroki Sugihara



Ch. Sugihara's family and his wife's sister Secuko.
Yukiko Sugihara is holding her newborn baby-boy,
who was born in Kaunas, in her hands. Lithuania, 1940.
USHMM, courtesy of H. Sugihara











KGB博物館（ビリニユス） ソ連支配時代の収容所



START
OF EXHIBITION



KGB VIDAUS
KALĒJIMAS
KGB PRISON



EXHIBITION
A JOURNAL

KOVOJANČIOS

LIETUVOS PREZIDENTAS

PRESIDENT OF LITHUANIA FIGHTING FOR FREEDOM



MŪSŲ DIDVYRIS
OUR HERO

JONAS ŽEMAITIS-VYTAUTAS

VLADAS KUROČ
DŪDELE
1923-1946

VLADAS LASAUSKAS-
BERZAS
1926-1946

VLADAS LIU
1916-





Nacių okupacija Lietuvoje
Nazi occupation in Lithuania

019



2000-01-01 00:00:00

Textual information, likely a list or document, displayed on a panel.

Textual information, likely a list or document, displayed on a panel.





Vilniaus geto likvidacija. 1943 m. rugsėjo 23–24 d. V19
Liquidation of Vilnius ghetto. 23–24 September 1943



Darbo pasų – vadinamųjų geltonųjų šalmų – tikrinimas Vilniaus gėtė
Check of labour passports, the so-called Yellow Shelm, in Vilnius ghetto

V10



Žuvusių vokiečių karių pagerbimas. Kaunas, 1941 m. lapkričio 9 d. **N3**
Honouring fallen German soldiers. Kaunas, 9 November 1941









**We ACCUSE
Moscow**

**due to
the genocide of
the Ukrainian people**



**Mes KALTINAME
Maskvą**

**dėl vykdomo
Ukrainiečių
tautos genocido**

5 6000人の命のビザ ——ユダヤ人を救った杉原千畝

杉原千畝の顕彰碑 (ビリニュース)







杉原千畝通り (ビリニユス)







CH. SUGIHAROS G. 3

GROŽIO
TERAPIJOS IR
CHIRURGIJOS
KLINIKA



杉原千畝
3

カウナス駅
杉原千畝の
記念プレート





1940 m. rugsio 4 dieną,
išvykdamas iš Kauno geležinkelio
stoties, Chino Sugihara dalijo
Gyvybės vizas.

杉原千鶴は1940年
8月4日にカウナス駅を
出発する直前まで
「命のビザ」を発給し続けた。

Mr. Chino Sugihara continued
to issue Visas for Life right up
until the point his train departed
from Kaunas Station
on September 4th, 1940.





杉原千畝が執務し
ていた日本領事館
(カウナス)



Sugiharos namų muziejus

1936 m. Sugihara namų muziejus įkurtas namuose, kuriuose Sugihara šeima gyveno iki 1945 m. Ši vieta tapo pirmuoju Sugihara namų muziejumi, kuriame buvo išlaikyti Sugihara šeimos daiktai ir fotografijos.

C. Sugihara (1894-1945) gimė 1894 m. 112 m. Sugihara šeimoje, kuri buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family).

Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family).

Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family).

Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family). Sugihara šeima buvo žinoma kaip „Sugihara šeima“ (Sugihara Family).



Sugihara House

In 1936, the Sugihara family moved to the Sugihara House. The house was built in 1936 and was the only one of its kind in the area. It was built by the Sugihara family and was the only one of its kind in the area.

The house was built in 1936 and was the only one of its kind in the area. It was built by the Sugihara family and was the only one of its kind in the area.

The house was built in 1936 and was the only one of its kind in the area. It was built by the Sugihara family and was the only one of its kind in the area.

The house was built in 1936 and was the only one of its kind in the area. It was built by the Sugihara family and was the only one of its kind in the area.

The house was built in 1936 and was the only one of its kind in the area. It was built by the Sugihara family and was the only one of its kind in the area.













ミネルヴァ
ジュニア
評伝選

2

伊藤千尋 著

人道第一の決断から学ぶこと

杉原千畝

すげのちのこ



運命のビザ発給

本書の執筆を依頼されたまさにそのとき、イスラエルがガザ地区を占領、地上侵攻し集団虐殺といわれる行為を開始しました。ナチスから虐殺されたユダヤ人がなぜパレスチナの人を虐殺するのか、といふことができます。杉原ならどう考えるでしょうか。

(著者「あとがき」より)

ミネルヴァ選集





杉原千畝が出発前
に滞在したホテル
(カウナス)





1940 m. rugpjūtio 28 – rugsėjo 4 dienomis
„Metropolis“ viešbutyje Chiune Sugihara lešė
Gyvybės vizų išdavimą.

1940年8月28日～9月4日まで
メトロポリス・ホテルに
滞在した杉原千鶴は「命のビザ」を発給し続けた。

In 1940, between August 28th and
September 4th, Mr. Chiune Sugihara
stayed at the Metropolis Hotel;
during this period he continued
to issue Visas for Life.



リトアニアと日本 防衛協力拡大を

国防相「ロシアの隣人という共通点」

25.6.18
朝日

欧州バルト3国の一つ、リトアニアのシャカリエネ国防相が10日、朝日新聞の単独インタビューにオンラインで応じた。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中、ロシアの脅威にさらされる国として、日本やインド太平洋地域との防衛協力の拡大を訴えた。

同氏は「日本とリトアニアの共通点は、ロシアと中国という敵対国家の『隣人』という点だ」と強調。今後、日本とは安全保障分野の機密情報共有を可能にする「情報保護協定」の締結に意欲を示した。

また、6月下旬にはリトアニアの「地域サイバー防衛センター」へ日本の防衛省職員の派遣が予定されているとし「サイバー分野でもより協力を進めていきたい」と語った。

リトアニア政府は2026年までに防衛費を国内総生産（GDP）比5・5%に増やす方針。同氏は「ロシアと中国の協力関係を深刻に受け止めている私たちにとって、時間の猶予はない。この数字が現実的だ」と強調した。リトアニアでは5月、ドイツ軍の部隊が常駐を開始。ドイツ軍部隊の国外常駐は戦後初めて。同氏は、ロシアの脅威に対抗するため、さらなる防衛体制の強化が必要だと訴えた。

（松山紫乃）



「リトアニア」資源小国が再エネ推進で輸出国めざす

エネルギーの「脱ロシア」加速、2月に送電網を遮断



秋山訓子 文芸春秋編集委員

私

たちはついに、真の意味での独立を果たしたのだ」

今年2月、バルト三国が電力網を欧州とつなぎ、ロシア・ベラルーシ系統を遮断したことについて、

外アニアのエネルギー副大臣アイリダス・ダウクシャス(Daškevičius)はそう胸を張った。長年続いたエネルギーのロシア依存から、どのような脱却を果たしたのか。

外アニアの首都ビリニュスからバスで4時間はどのクライペダは、バルト海沿いの港湾都市だ。そこに住むデニス・マルティンシェス(Martinaitis)は昨年、自宅の屋根に太陽光発電のパネルをとりつけた。2000年に建てた家には、暖房用にほきをたぐための煙突がある。その煙突を囲み屋根にパネルを敷いた。

「政府から補助金が半額出るので決めた。友人にとりつける人が増えていきます」。自宅を新築した息子のエイメンタス(Emmentas)もパネルをとりつけた。

費用は約6000ユーロ(約100万円)で、自費でまかなったのは約半分だ。「3年もしないですぐ元がとれ

そうだったの。実際、使う量の量は4分の1になったし、電気料金も大幅に減った。自分たちが使うよりも多く発電すると、余剰分を太陽光が足りないときに充てることができるので満足だ」という。

エネルギー資源に乏しい外アニアは、太陽光や風力など再生可能エネルギーによる発電に力を入れている。このような国民参加型の施策もその一つだ。

1990年に独立を宣言した際、ソ連は経済制裁として外アニアへの石油や天然ガスなどのエネルギー輸出を大幅に削減した。家庭ではお湯が

解凍を外アニアに要求。原発は運転を停止した。12年には新原発の建設を問う国民投票が行われたが、否決された。

リトアニアは12年に「国家エネルギー独立戦略」を策定。ロシアへの依存度を減らすことを目標に掲げた。14年には脱ロシアの加速を迫られる事態が起きる。ロシアがウクライナ・クリミア半島を一方的に併合したのだ。同じ年、米国などから液化天然ガス(LNG)を輸入するために、クライペダ港沖にLNGターミナルを建設した。そのターミナルは「インディペンデンス」(独立)と名づけられた。

激しさを増すロシアのプロパガンダ

外アニアはエストニア、ラトビアと共にロシアの送電網に属していたが、17年に改定した国家戦略では、25年までにロシアからEU系統に切り替え、50年までに電力需要のすべてを国内の発電で賄うことをめざした。送電系統の切り替えは今年2月に実現した。

その「独立」の際、「ロシアからのプロパガンダ攻撃がすごかった」と、取材した人たちはみな口をそろえた。「送電網をEUに切り替えたら電気料金が跳ね上がるとか、SNSでたくさん流れていた。でも何も起きませんでしたけどね」とマルティンシェスは言う。

「ロシアからのプロパガンダはいつものこと。私たちは慣れている」と元エネルギー相のマスリス。「一度だけ、ロシアのプロパガンダが成功したのが国民投票で新たな原発建設が否決されたときだ

と我々は見ている」。それによってロシアへの依存度が高まってしまったというが、「結果として今、再エネを加速させることができた。これは政権交代がある党と野党が一致して、一貫している政治的意思だ」。

再エネによる発電量は順調に増えている。22年に外アニアで発電された電力のうち、風力発電が31.6%、揚水発電は11.6%、水力発電は9.7%、太陽光発電は7.2%だった。再エネの発電はさらに加速し、28年にはエネルギー輸出国になれる見込みだ。エネルギー副大臣のダウクシャスは「そのために多くの政策を進めている」という。

国民参加型政策として、自宅に太陽光パネルをとりつける際に政府の補助金が交付されるほか、政府が運営する太陽光発電の施設のパネルを、補助金を得て個人が所有することもできる。小口か

らオーナーになって、発電した分の電気料金が安くなる仕組みだ。国家規模での蓄電池施設も計画している。

企業も再エネ関連の開発や売り込みに入れている。外アニア発の企業「SolTē」は「50年の耐久性」をうたい、屋根や壁と一体化したパネルを製造している。

CEOのジュリアス・サカラウスカス(Juliauskas)は「私が高品質で50年と長く使え、リサイクル率も高い製品で差別化している」と説明する。家や大型の蓄電池も開発、実用化した。

ウクライナ戦争開始後は太陽光パネルの需要が急増し、市場は大きく成長したものの、「中国製品なども出回って過剰在庫となり、企業の多くが倒産しました。私たちは存続しはゆるやかな成長を続けています」という。●



自宅の屋根に太陽光パネルをとりつけたマルティンシェス親子

大国の足もとで 生き抜く知恵



おしまい